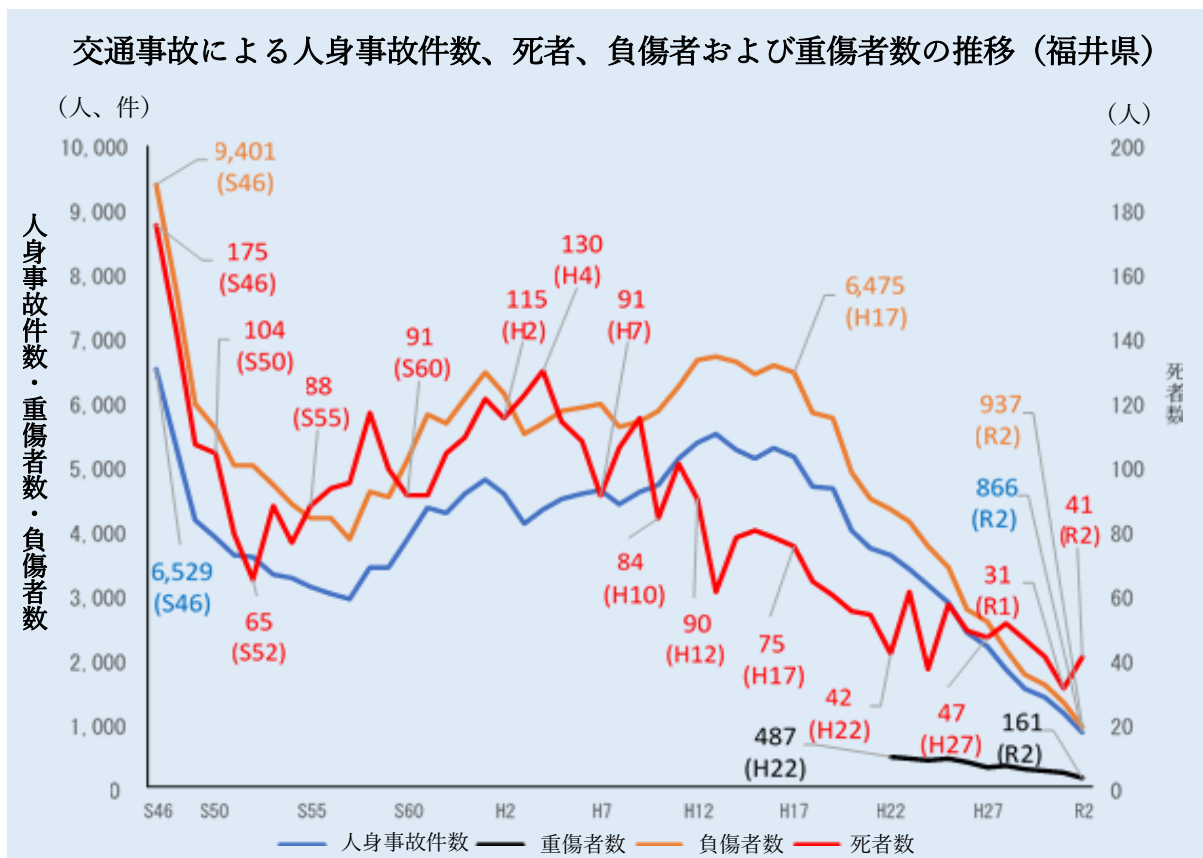


第1章 道路交通安全

1 福井県の道路交通事故の現状

本県の交通事故による24時間死者数は、昭和46年に175人を数えたが、昭和52年には65人と半数以下となった。その後増減を繰り返し、平成4年には130人に達したが、平成10年には84人となり、昭和46年当時の約半数となった。さらに、令和元年の死者数は31人と、過去50年で最小となり、「令和2年までに24時間死者数を35人以下とする」という目標を達成したが、令和2年の死者数は41人となり、2年連続の目標達成には至らなかった。

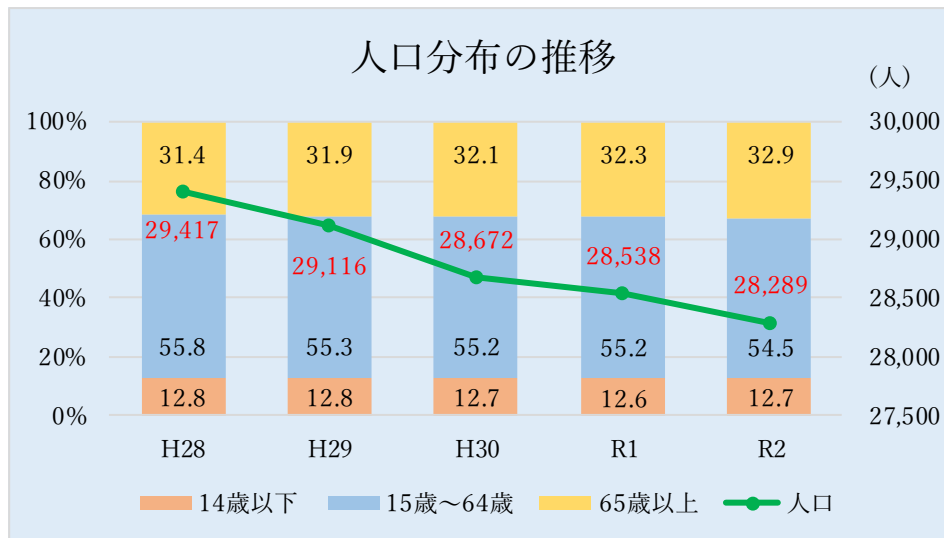
負傷者数は、平成17年以降、16年連続で減少し、「人身事故の減少の定着化を図る」という目標は達成することができた。



2 小浜市の道路交通事故の現状

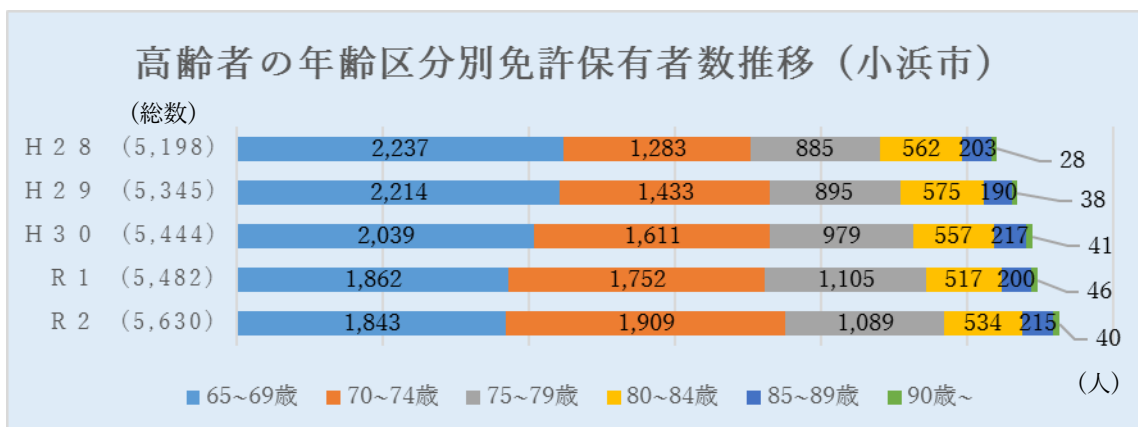
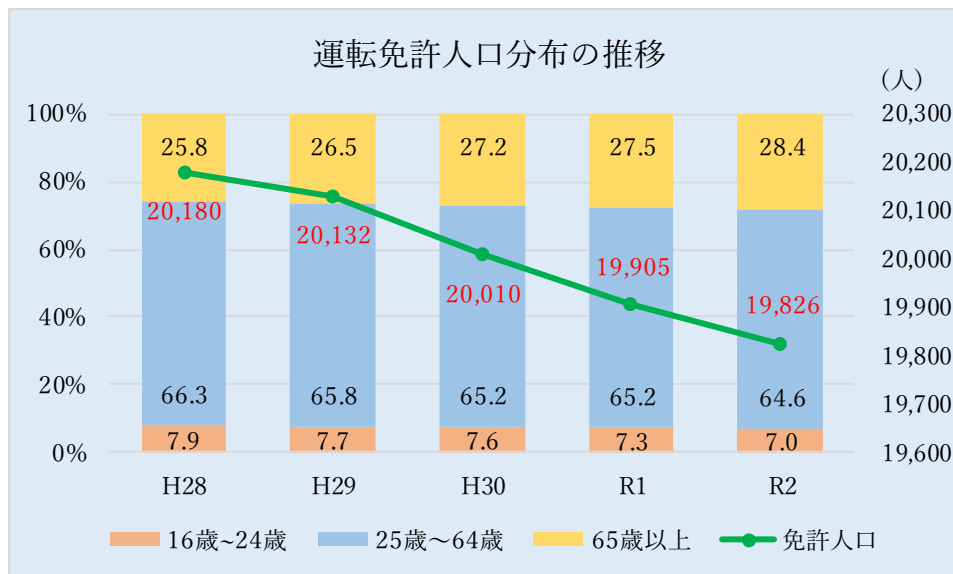
(1) 小浜市の人口推移

小浜市の人口は減少傾向にあるが、その中で高齢者の割合は緩やかな増加傾向となっている。



(2) 小浜市の運転免許人口推移

小浜市の運転免許人口は減少傾向にあるが、その中で65歳以上の高齢者が占める割合は年々増加傾向にあり、全体の3割に迫る勢いとなっている。

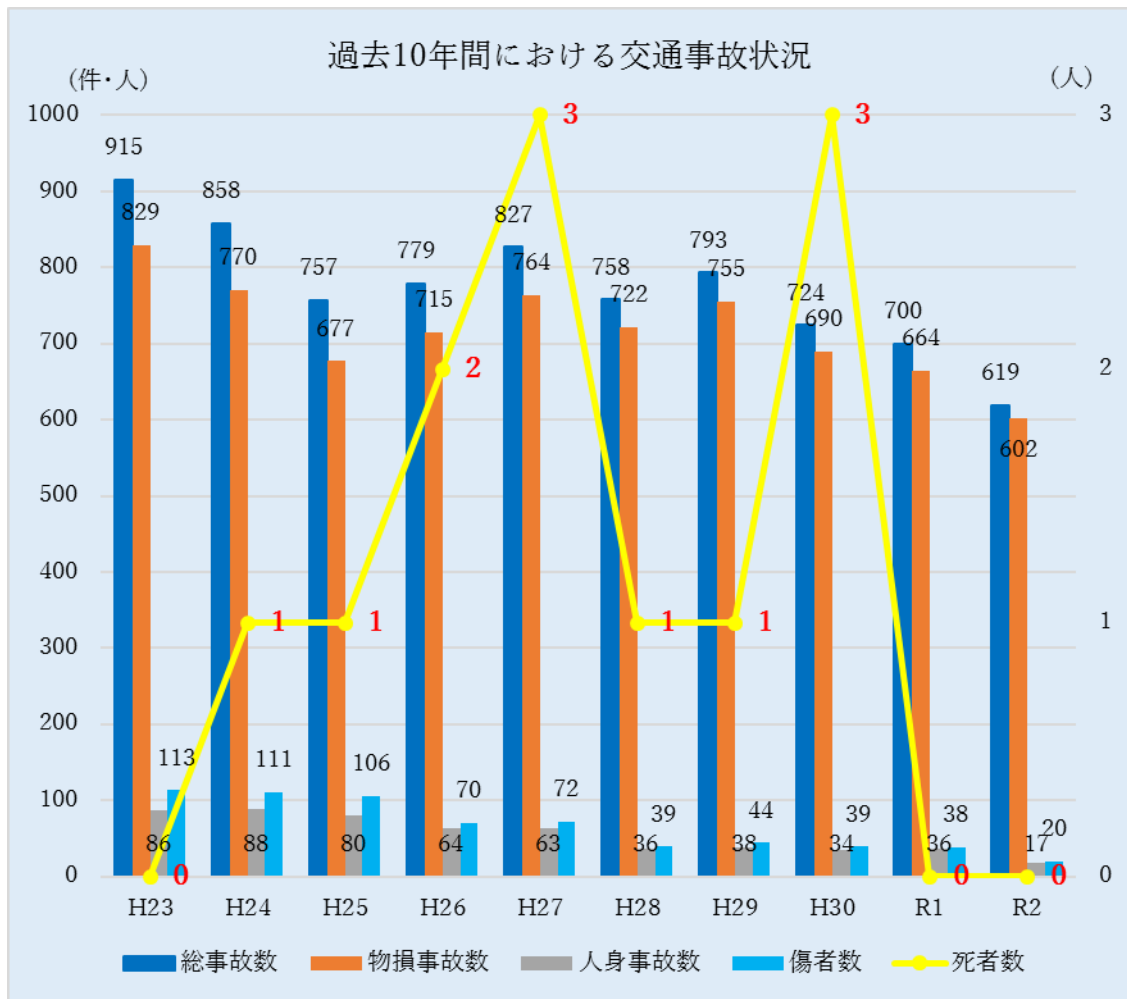


(3) 小浜市の交通環境

小浜市は、国道27号、162号、主要地方道小浜・上中線等の主要幹線道路を中心に、JR小浜線と多数の生活道路・児童の通学路等が複雑に交差する環境にある。
 また、平成26年の舞鶴若狭自動車道全線開通に伴い、市内の交通量は増加しており、今後、北陸新幹線が開通すれば、更なる交通量の増加が見込まれている。

(4) 小浜市の道路交通事故の状況

小浜市の道路交通事故について、過去10年間の発生状況の推移を見ると、事故数については平成23年の915件をピークにその後は増減しながらも、全体として減少傾向にあり、令和2年には619件とピーク時の3分の2の件数となった。
 人身事故件数の減少傾向はさらに顕著であり、平成23年と比較し、令和元年は約6割減、令和2年にあつてはコロナ禍という要因もあり約8割減となっており、傷者数もほぼ同様に減少している。
 また、死者数にあつては、年によってばらつきがあり、平成27年と平成30年には3人の死者が出ているが、直近2年間（令和元年及び令和2年）は死者数0人を達成している。



(5) 令和2年における、小浜市と他の市町との道路交通事故発生状況の比較

令和2年における、県内の道路交通事故の発生状況を市町毎に見ると、1万人当たりの死者数は勝山市が最も多く、以下、美浜町、大野市、永平寺町、越前町となり、小浜市を含む7市町で死者数0人を達成している。

また、1万人当たり傷者数については、美浜町が最も多く、以下、福井市、鯖江市、敦賀市、あわら市、坂井市と続いており、美浜町とあわら市以外は人口が多く、事故件数が多い自治体となっている。

小浜市は、17市町で11番目となり、傷者数についても比較的少ないものと言え、令和2年に関しては、小浜市は他の市町と比較し、道路交通事故の発生が抑制できていたものである。

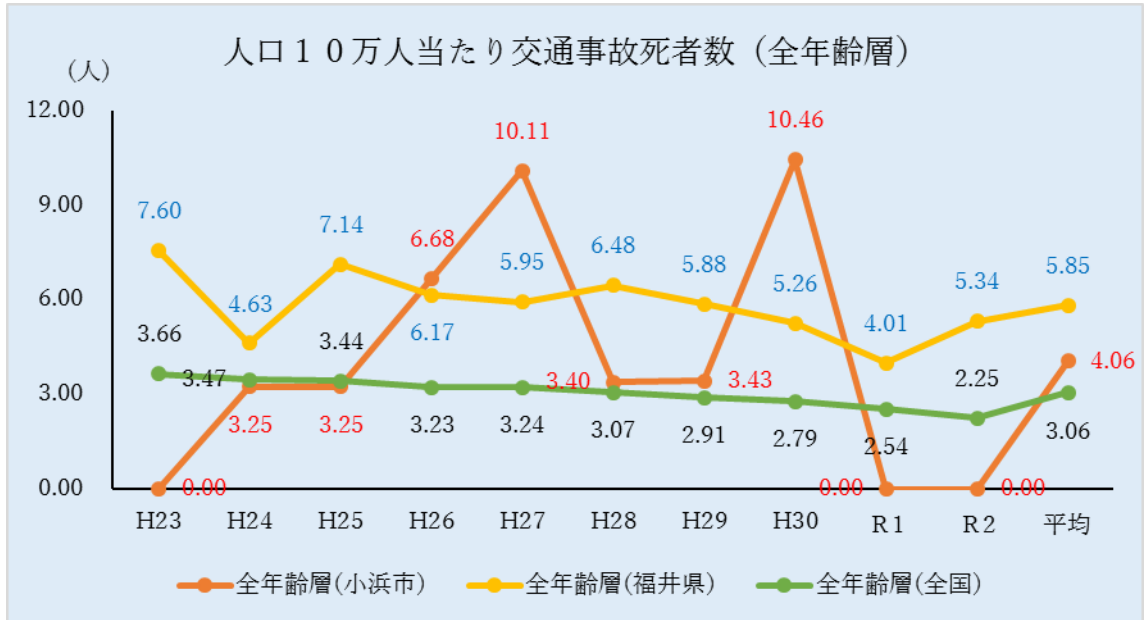
○令和2年 市町別人身事故状況

	件数	死者	傷者	1万人当り死者	1万人当り傷者	傷者数順位
勝山市	16	5	14	2.22	6.23	14
美浜町	15	2	16	2.17	17.39	1
大野市	19	5	24	1.61	7.72	9
永平寺町	11	2	9	1.05	4.71	15
越前町	14	2	14	0.99	6.95	12
敦賀市	85	5	91	0.78	14.13	4
越前市	52	4	51	0.5	6.38	13
福井市	380	11	415	0.42	15.82	2
坂井市	98	3	101	0.34	11.4	6
鯖江市	97	2	103	0.29	15.01	3
あわら市	28	0	35	0	12.71	5
池田町	0	0	0	0	0	17
南越前町	3	0	3	0	2.98	16
若狭町	9	0	10	0	7.06	10
小浜市	17	0	20	0	7.02	11
おおい町	7	0	9	0	11.21	7
高浜町	7	0	11	0	10.74	8

(6) 小浜市の交通死亡事故の特徴

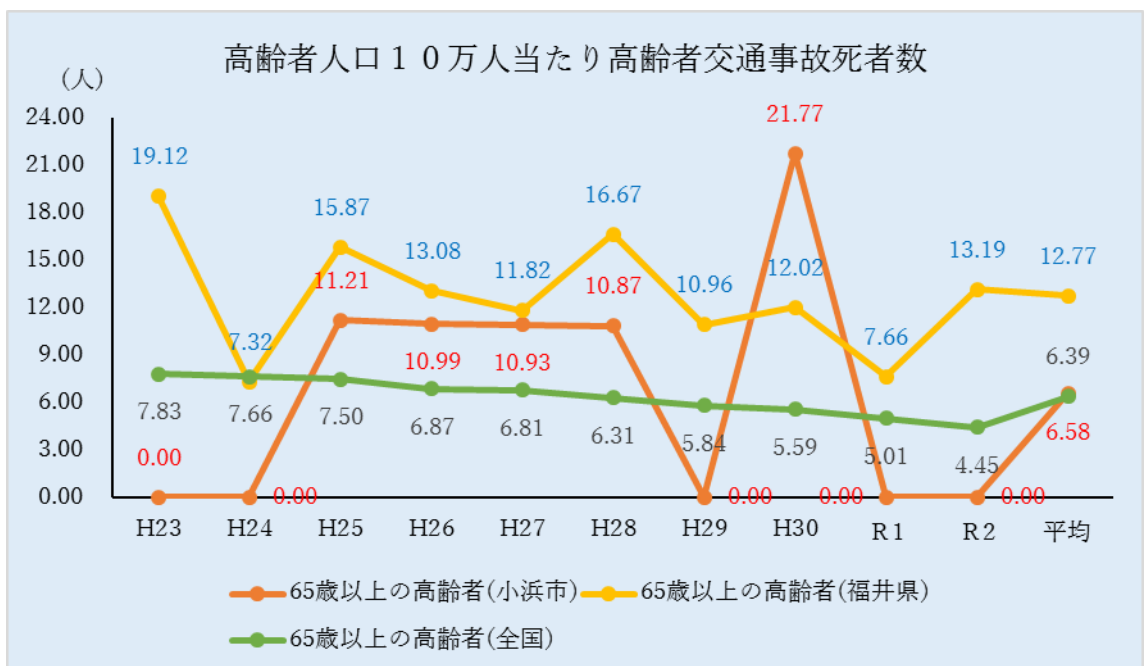
- ① 小浜市の交通事故による死者数を人口10万人あたりに換算すると、年毎に増減が激しい傾向となるが、過去10年間の平均値で比較すると、県平均よりも1.79人少なく、全国平均よりは1人多くなっている。

※小浜市は、死者1人あたり3～3.5数値が上がる為、変動が大きくなる。

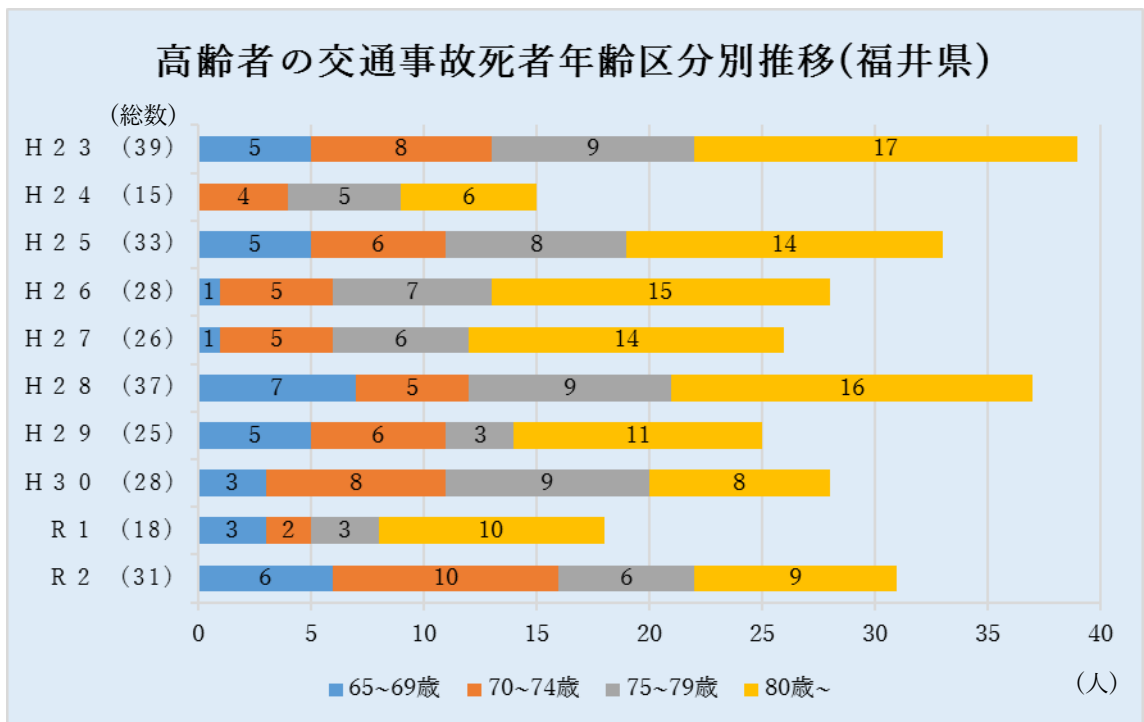
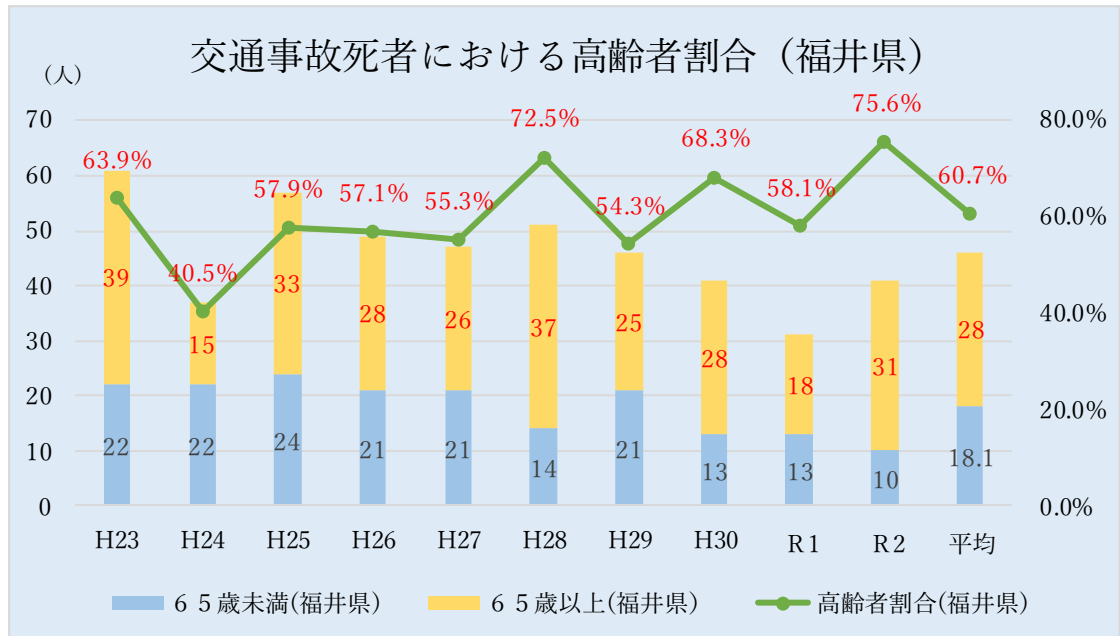


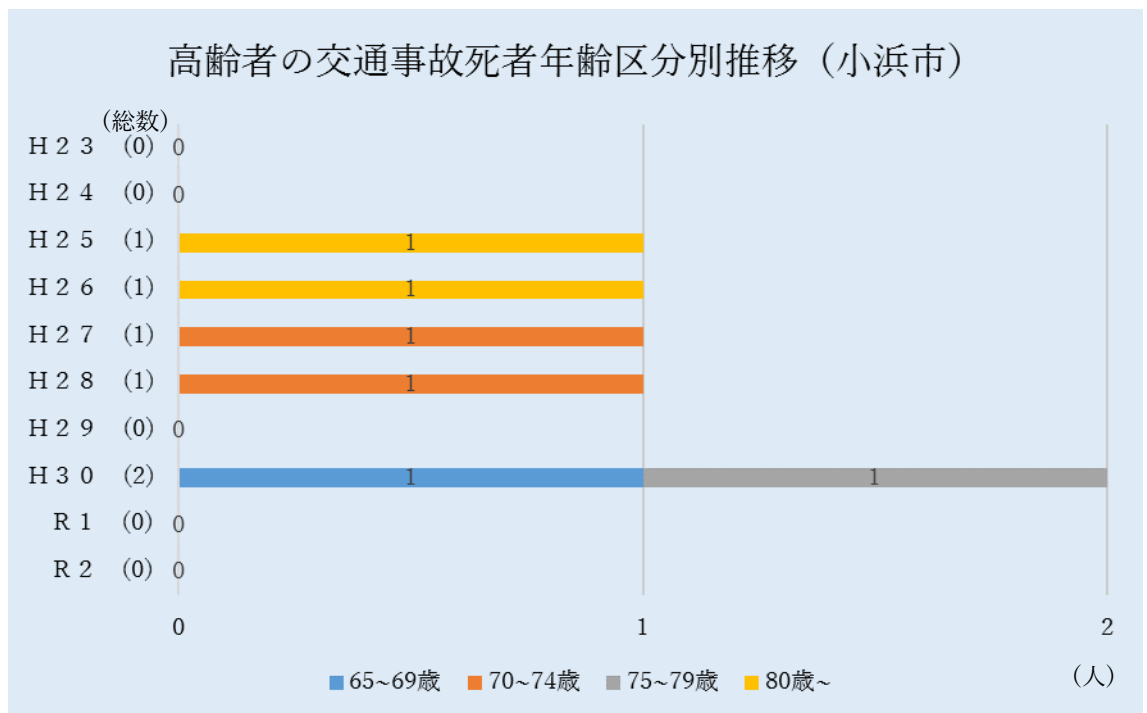
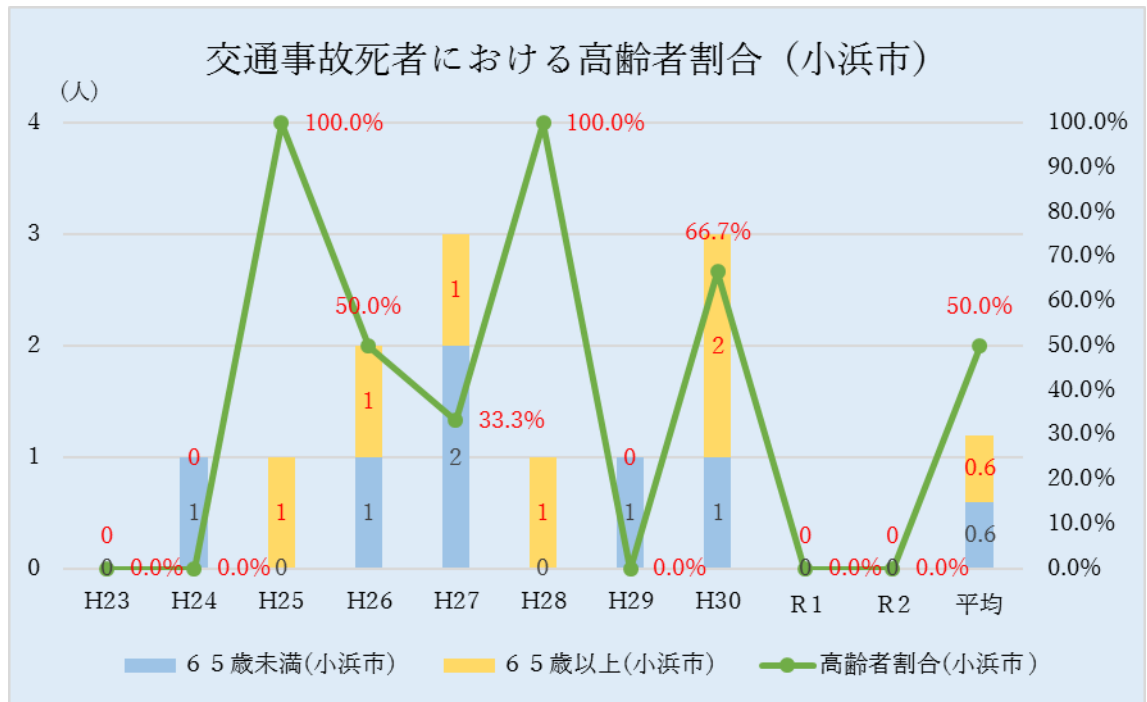
- ② 高齢者人口10万人当たりの高齢者死者数についても、小浜市は年毎の増減の幅が大きくなるが、過去10年における5年間は死者数0人を達成している。
- また、平均値で県や全国と比較すると、県の約半数、全国平均とほぼ同じとなる。

※小浜市内の高齢者人口は9,100～9,200人で推移しており、死者が1人発生すれば、計算上10を超える。

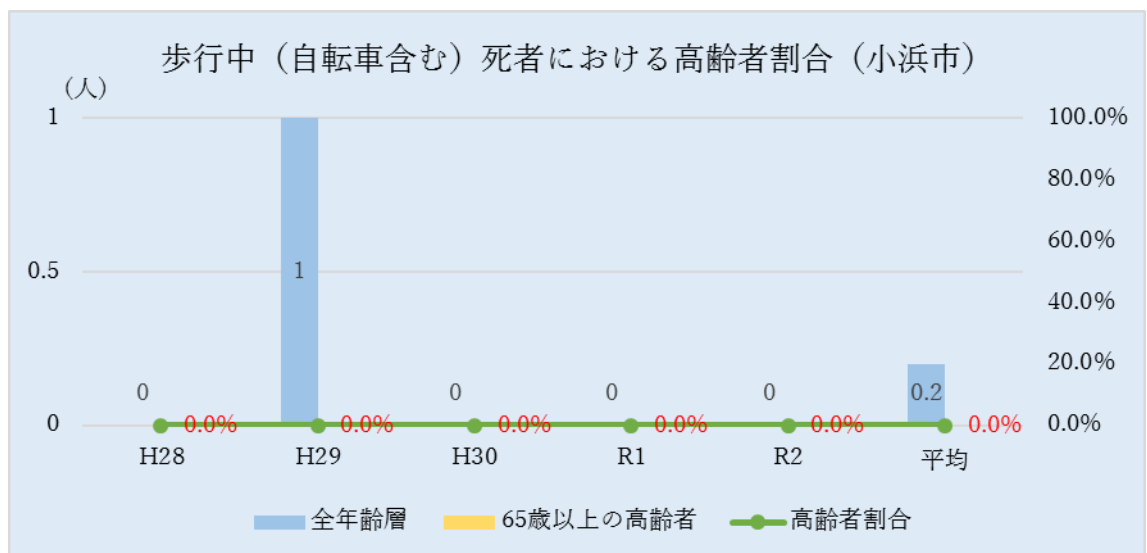
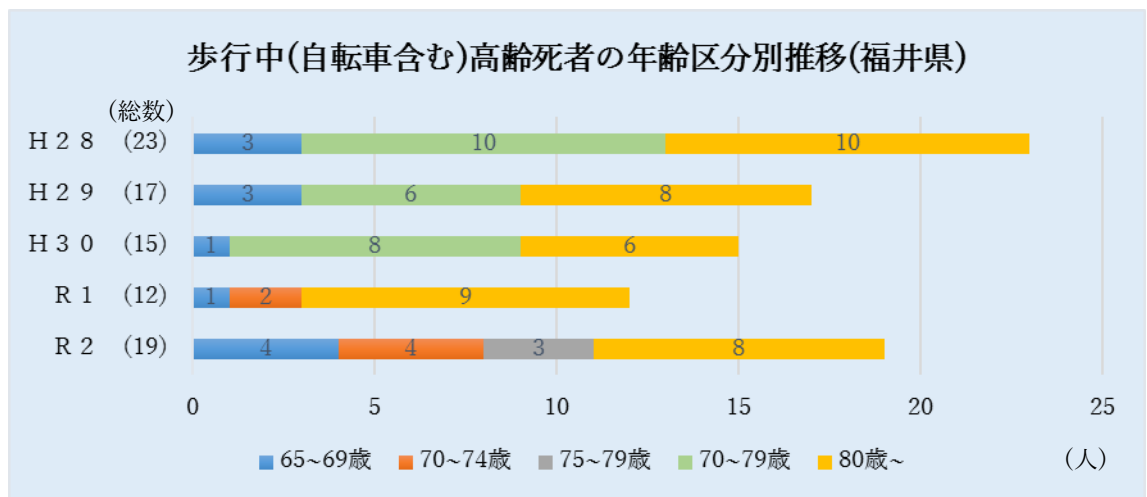
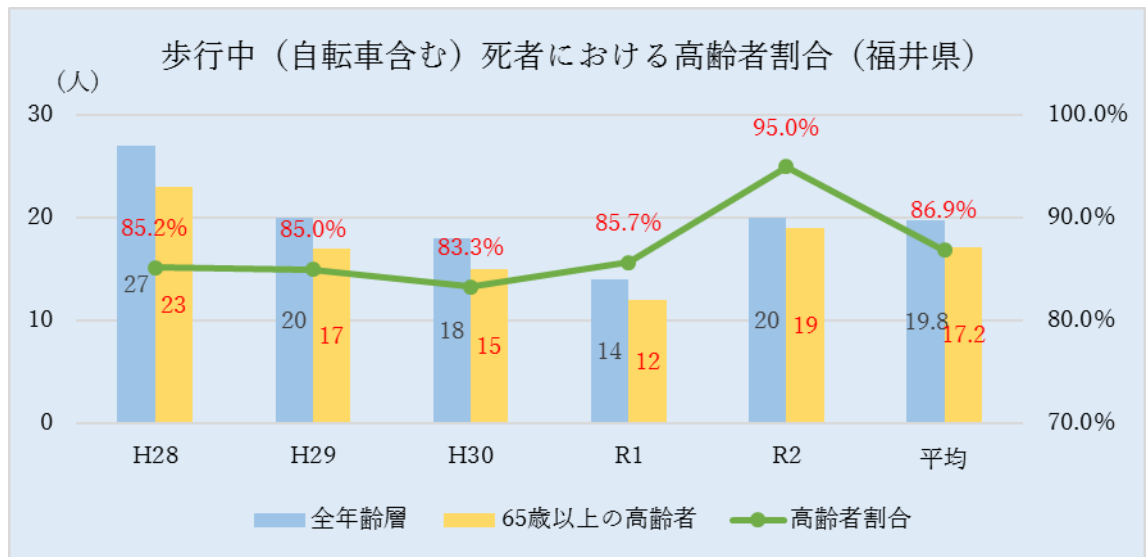


- ③ 過去10年の交通事故死者における高齢者割合を県と比較すると、県は最低でも4割を越え、平均が約6割と高い割合で推移し、令和2年は過去10年で最高の75.6%となっている。
 一方、小浜市は、平均で見ると5割となるが、過去10年における5年間で高齢者の年間死者数0人を達成している。



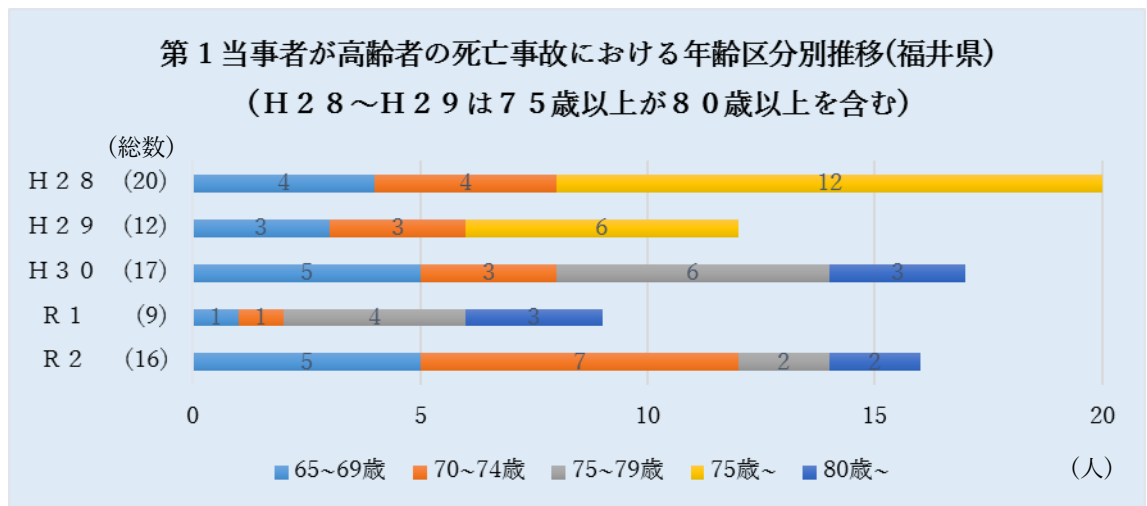
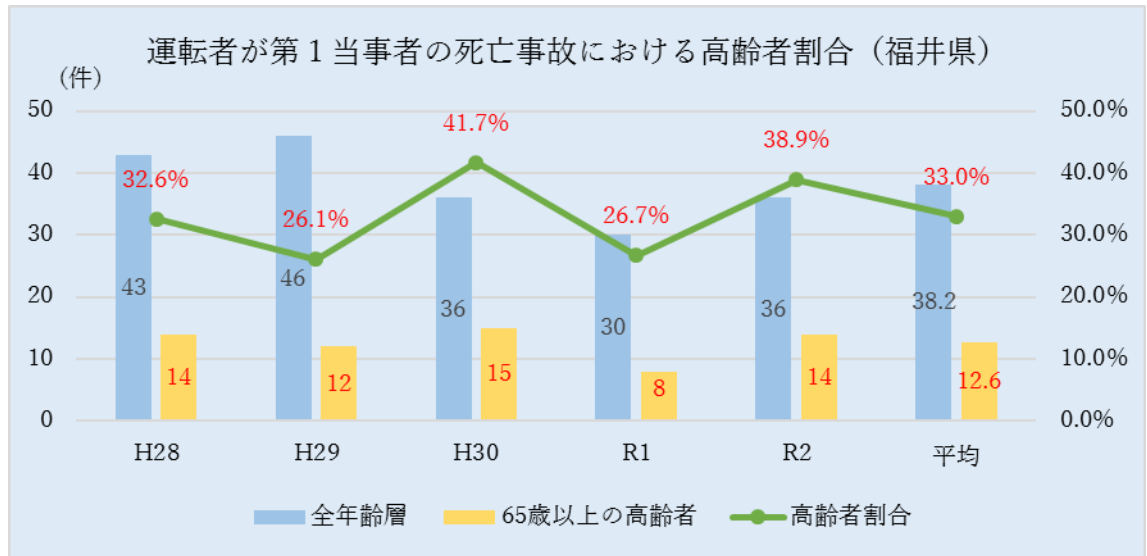


- ④ 歩行中（自転車含む）の死者における高齢者割合については、県では、平均約87%が高齢者という高い数値となるが、小浜市においては、過去5年間の高齢者の歩行中（自転車含む）の死者数は0人（全年齢層を含めても1人）であることから、小浜市に関しては、高齢者の歩行者は安全が保たれていたと言える。

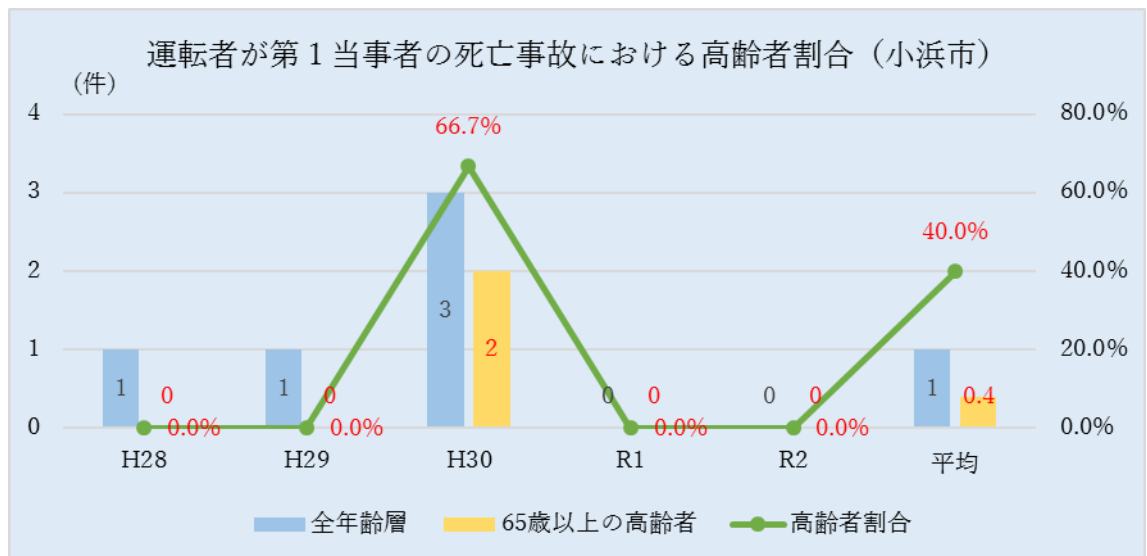


※小浜市は、高齢歩行者の死者がないため、年齢区分別推移は作成せず。

- ⑤ 直近5年間の運転者が第1当事者の死亡事故における高齢者割合は、県全体では平均33%であるが、小浜市においては、全体数は少ないものの、平均40%と県を上回る割合となっている。



※データは自転車単独事故も含むため、上記グラフより総数が多い年がある。



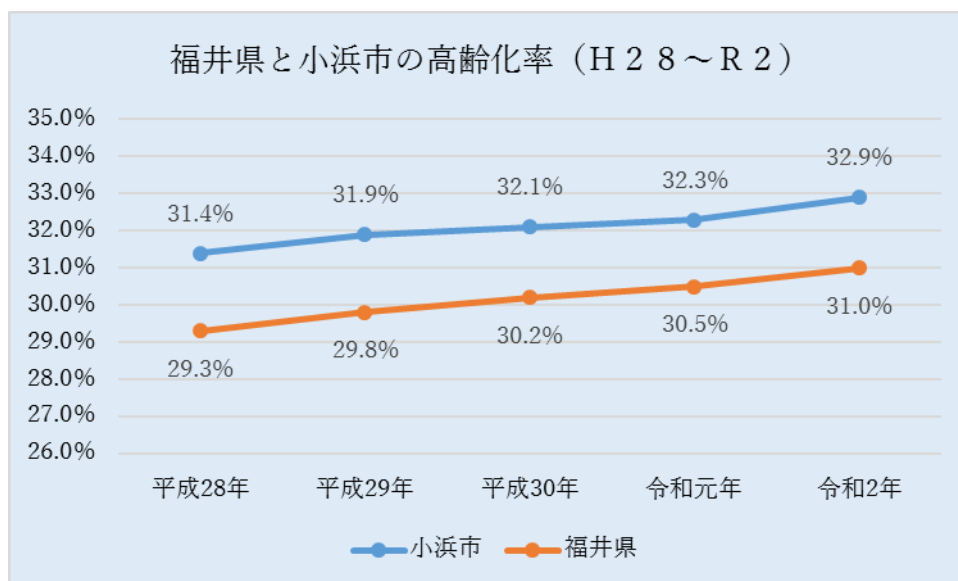
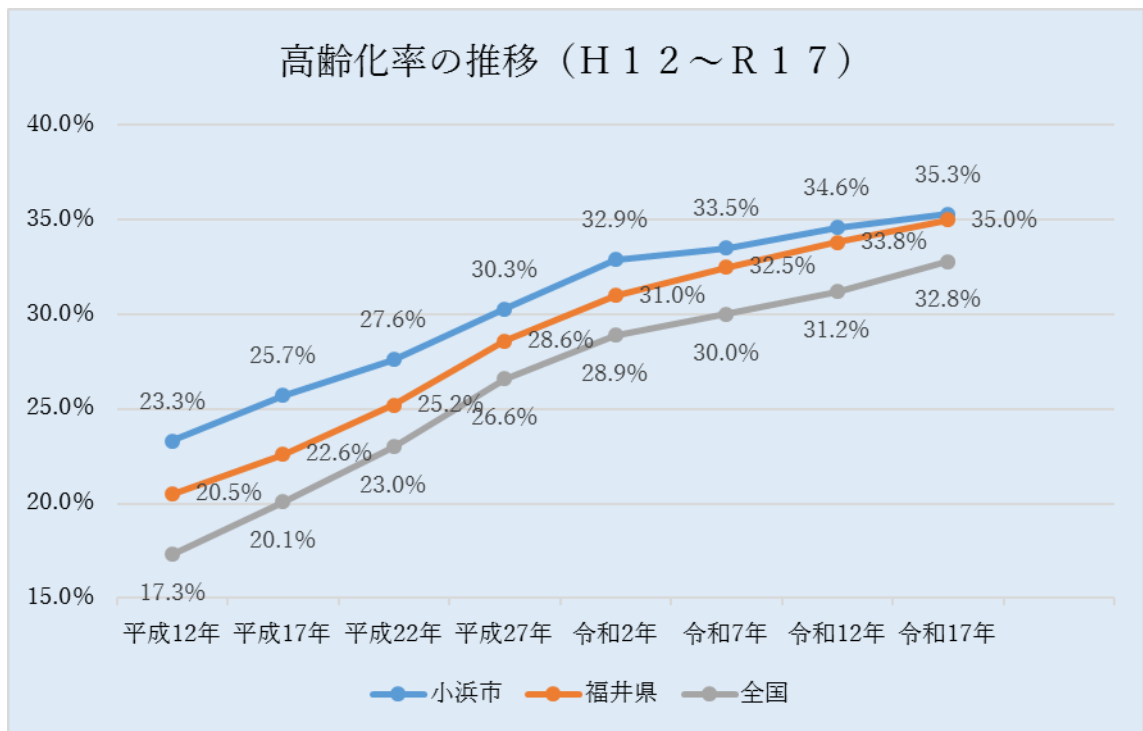
※平成30年における高齢者の死者の年齢は76歳と66歳である。

※平成30年以外に高齢者の該当者がいないため、年齢区分別推移は作成せず。

3 小浜市の交通事故（高齢化率推移）の見通し

小浜市の人口における高齢化率は、今後も全国や県に比べ高い割合で推移していくものと予想され、平成12年に23.3%であったものが、令和2年には32.9%となり、令和7年には33.5%、その後もさらに増加していくことが見込まれることから、今後もこれまで以上に高齢者に対する安全対策が必要になってくるものと考えられる。

小浜市と福井県、全国の高齢化率の推移



4 交通安全計画における目標

- ① **令和7年までに交通事故による死者数を年間0人とする**

- ② **令和7年までに交通事故による傷者数を年間25人以下にする**

道路交通事故のない社会を達成することが究極の目標であるが、一朝一夕にこの目標を達成することは困難であると考えられ、まず最優先の目標は死者数の減少を目指すことになる。

小浜市においては、令和元年、令和2年と交通死亡事故が発生していなかったことから、今後も死者数0人の達成を目指し、「令和7年までに交通事故による死者数を年間0人とする」を目標とする。

また、県では重傷者が発生する事故防止への取組みが、死者数の減少につながると考え、重傷者数に関し新たに目標値を設定したが、小浜市では、重傷者事故が少ないことから、重傷者を含めた傷者数の減少を目指すこととする。

具体的には、直近5年間の年平均傷者数36人から30%以上の減少を目指し、「令和7年までに交通事故による傷者数を年間25人以下にする」を目標とする。